５年１組　　道徳科学習指導案

１　主　題　　　集団の中での役割（Ｃ　よりよい学校生活、集団生活の充実）

　　教材名　　　ケンタの役割　 出典：光村図書「きみがいちばんひかるとき」

２　本時の学習

（１）ねらい

　２つの役割を同時に果たさなければならず悩むケンタの姿を通して、自分の行動を決断するときに必要なことについて考え、集団における自分の役割と責任を自覚し、集団生活の充実に努めようとする判断力を育てる。

（２）準備

教師・・・ワークシート　　　児童・・・タブレット

（３）学習過程　　　　　　　　　　　　　　　　アンダーラインは、現職テーマに迫る手だて

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 段階 | 学　習　活　動 | ○教師の支援・留意点　◎評価 |
| つかむ５分 | １　日直や係，委員会の仕事など，自分はどんな活動をしているか，出し合う。 【全】　・飼育委員会で朝のウサギの世話　・給食当番で食缶を運ぶ　・通学班の班長　・学習係で朝の提出物点検　　　　　　　　２　本時のめあてを知る。　　　　　　　　　【全】 | 〇　思い付いた児童から発表し、他の児童の参考になるようにする。〇　５年生になり、リーダー的な役割が多くなったことを確認する。○　いろいろな活動が重なって困ったという体験を拾い上げたい。 |
|  | 自分の行動を決断するときにどんなことを考えなければならないだろう。 |  |
|  |  |
| 追究する 33 分 | ３　教材を読み、タクヤとミキの言い分や思いをまとめる。　　　　　　　　　　　　　　　　【全】 ・「これまでの経緯」、「ケンタが必要なわけ」、「メンバーの気持ち」などの観点から考える。４　タクヤとミキ、どちらの言い分に納得できるかを考える。　　　　　　　　　　【個→ペア→全】　＜ミキ・委員会＞　　・今までリレーの練習を優先していた。　　・６年生から任された。　＜タクヤ・リレー（陸上大会）＞・大会は明日。　　・２年連続の入賞がかかっている。　＜両方＞　　・どちらの言い分もよく分かる。５　ケンタが何と言ったか、ケンタの立場で考える。 　　　　　　　　　　　　【個→全】　・ぼくは、ポスター作りをしようと思う。どうし　　てかというと、　　　　　　　。　・ぼくは、　リレーを　しようと思う。どうして　　かというと、　　　　　　　。　・ぼくは、　両方　しようと思う。どうしてかと　　いうと、　　　　　　　。 | 〇　タクヤとミキのそれぞれの言い分や思いを板書する。〇　状況をしっかり把握することで、この後のケンタの発言や考えにつなげられるようにする。〇　タクヤとミキのどちらの主張に納得できるかを「心のものさし」を使って考えることで、視覚的に分かるようにする。〇　「心のものさし」や机間指導から、さまざまな意見を取り出し、「何を大切にしてそう思うか」を考えることができるようにする。〇　タブレットにケンタの言葉を入力することで、発言が苦手な児童も意見を伝え合い、考えを深めることができるようにする。◎　どんなことを大切にして判断し、行動したらよいかを考えることができたか。　　（発言・タブレット） |
| まとめる７分 | ６　本時の学習をまとめる。（１）２つの役割の中で、自分の行動を決断するときに、何を大切にすればいいか、自分の考えて書く。　　　　　　　　　　　　　　　【個】　　　　　　　　　　　　　　　　　　・役割を最後までやり抜くことができるか。　　・周囲の人に迷惑をかけていないか。　　・できればどちらもできるような方法はないか。（２）大切なことについて、互いの考えを伝え合う。　　　　　　　　　　　　　　　【全】　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 | ◎　学校での役割を振り返り、自分の行動を決断するときに大切なことについて、自分なりに考えをまとめることができたか。　　　　　　　（発言・ワークシート）○　児童の発表を通し、自分で考え、決断することが大切であることを押さえ、本時のまとめとする。 |
|

（４）評　価

 　・　集団の中で役割を果たすことの大切さや、そのためには自分の役割と責任を自覚することが

　　　大切であるということに気付くことができたか。

　　・　集団において自分の役割を果たす際に大切なことについて、さまざまな面から考えることが

　　　できたか。